

# 未来にかがやきを!!

市政ニュース

2020.12月 第18号



2020年12月定例会を終えました。  
45分一括質問方式で一般質問しました。

## 上野ほたるニュース

- ① 夜間・休日の富山市・医師会急患センターの対応について
- ② 環境と人体への配慮について
- ③ 学校給食の取組みについて
- ④ がん患者への支援体制について
- ⑤ 富山市立小・中学校学校再編とオンライン授業について

質問ピックアップ



### ① 夜間・休日の富山市医療会急患センターの対応について

【質】小児科の夜間診療体制は現状を維持すべきである。見解を問う。

【答】(福祉保健部部长)

令和6年度をめどに進められている医師の働き方改革を見据え現行の小児科の診療体制を維持していくことは難しく本市といたしましてはこの度の富山市医師会が要望された診療時間の見直しについては本市の休日夜間の初期救急医療体制を維持する上でやむを得ないものと考えているところであり、ご理解下さい。なお、市といたしましては市民の皆さんには、かかりつけ医をもって頂きたいと考えております。とりわけ、小さなお子さんはケガや急な発熱の心配もありますので日頃のお子さんの健康状態を把握している、かかりつけ医がいれば電話などでも気軽に相談でき必要な時は専門の医療機関を相談してもらえますので、予防接種などの機会を通じてぜひかかりつけ医をいただきますようお願いするものでございます。

【質】県の子ども医療電話相談との連携がより必要ではないか。見解を問う。

【答】(福祉保健部部长)

子ども医療電話相談#8000につきましては、夜間におけるお子さんの急な病気やケガなどの対処方法などについて適切な助言を受ける事ができる電話相談のサービスであります。本市では、これまでも市のHPや母子健康手帳に子ども医療電話相談#8000の内容を掲載するとともに子育て支援ガイドブックなどのパンフレットや4~5ヶ月児のしおり、赤ちゃん教室などのしおりなどにも掲載しているところでもありますが、引き続き〇につとめて参ります。

### ★ほたるのつぶやき★

医師の働き方改革はしなければならないことだが、夜間急病センターの利用が一定程度あることや、かかりつけ医が夜間対応できるサポート体制がないことは、今後改善すべきと考える。また、小児の容体が急変する可能性もあり、1次救急の受入れ時間が変更になることで、2次救急への影響は懸念される。現時点では影響がないと当局は考えているが、今後も注視していきたい。



### 学校給食の取組みについて

【質】学校給食における県内産の食材の使用量の変化を問う。

【答】(教育委員会事務局長)

学校給食で使用している県内産食材について過去5年間の野菜 果物 米 牛乳 卵等の年間使用量の推移を見ますと平成27年度では、合計1925tであります。その後年々減少しており令和元年度は、合計1704tとなっております。全体の使用量が減少している一方で、児童生徒1人あたりの年間使用量は、約58kgとほぼ横ばいで推移している事から使用が減となった主な要因は、児童生徒数の減少によるものと考えられます。なお、令和元年度は、1人あたり55.4kgと前年度より減となっておりますこれは、新型コロナウイルス感染症対策の為に3月の学校臨時休業によるものであります。

### ★ほたるのつぶやき★

近隣では石川県羽咋市や南砺市においても学校給食で米や有機野菜等の使用を取り組まれています。付加価値の創造だけでなく、地産地消を進めること、給食で子どもたちの体がつくられることを考え、環境や人へ配慮ができるように富山市でも取り組んでいってはいかがでしょうか



## 学校給食の取組みについて

【質】学校給食で有機野菜等の使用をしてはどうか見解を問う。

【答】（教育委員会事務局長）

本市において令和元年度に、学校給食で使用した生鮮野菜や果物は全体で約840tとなっておりますが、これまで有機野菜等は使用していないところであります。その理由として、有機野菜等は流通量が少なく平成30年度に農林水産省がおこなった調査によりますと国内の有機野菜と果物の生産は、年間約50000tであり本市の給食に必要な量の調達が難しい事があげられます。また、有機野菜等は、その生産コストにより価格が割高となります。さらに本市では、富山市学校給食用物資基準規格により品質基準として調理しやすいよう大きさや形がそろっていること及び虫害が無いことなどを求めています。有機野菜等は、その生産方法により適合が難しいものと考えられます。以上の事から本市の学校給食における有機野菜等の使用は考えていないところであります。なお、一般市場に流通する野菜や果物等については、農薬取り締まり法及び食品衛生法による基準に適合していますので、市教育委員会といたしましては、今後とも本市の学校給食において安心安全な食材として使用して参りたいと考えております。

★ほたるのつぶやき★ 千葉県いすみ市では、市内の小中学校の給食に使う米の全量42トンは、農薬、化学肥料を使わない地元産の有機米「コシヒカリ」を使用しています。8年前まで有機米の栽培は皆無だったが、現在は100トン近くを生産されており、JAいすみは県外の有機専門店に販路を広げ、一層の生産拡大を目指している。買い取り価格は有機JASが60キロ2万3000円、有機に転換中は同2万円。収量の減少分をカバーし、再生産可能な価格とした。生産者は安心して栽培が続けられ、産地が形成されたそうです。今後も働きかけます。



★ほたるのつぶやき★ 富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針が示されました。通学困難者が更に増えないか懸念しております。富山市立小・中学校の再編に関する市民アンケートの結果にも保護者への負担が増えるのではないかと心配の声もあります。基本方針でも、望ましい通学距離や時間として「徒歩で2～3キロ、自転車で6キロ以内」「徒歩・自転車30分～40分以内、スクールバス・公共交通を利用した場合は自宅からおおむね1時間以内」と方針が示されていますが、それ以上の距離を通学する生徒へ具体的にスクールバス等の支援策が確保されるのか、きちんと示すべきです。実際にコミュニティバスが運営されている八尾地域では、手前の正間のバス停までは、例えば大長谷地区ですと片道10キロメートル程度あり、児童の足で通うことは困難な現状になっています。通学困難者が更に増えないよう今後のサポート体制を求めていきます。

## ★12月定例会当初予算ピックアップ★

(単位：千円)

新型コロナウイルス感染症対策に係る学生への支援助成金	572
市税スマートフォン決済システム導入業務委託料等	3,325
介護サービス事業所等サービス継続支援事業費補助金	41,718
学校再編計画策定業務委託料	20,000
企業立地奨励事業補助金	190,190



## 【会派光の賛否状況】※満場一致でなかったものを中心に掲載

議員提出議案	(会派)	(全体)
第26号『非正規労働者の不合理な待遇格差の是正等を求める意見書』	⇒ 賛成	⇒ 否決
請願・陳情		
請願第7号『市民との意見交換会を開くことの請願』	⇒ 賛成	⇒ 否決

公式ホームページ  
<https://ueno-hotaru.com/>

Facebook, Line@  
でも活動報告中。

※詳しくは、市役所HPや議会だよりをご覧ください。

疑問・質問・ご意見等は、遠慮なく後援会(076-432-7885)まで、お寄せ下さい。

※市政報告会や意見交換会等の開催のご希望があれば、併せてお聞かせ願えれば幸いです。



富山市議会議員

# 上野ほたる

## 【プロフィール】

1984年に富山市に生まれる。夫と子どもの4人家族。日々子育ても奮闘中。富山大学附属中学校、富山高校を卒業。H28.10月迄介護施設に事務職として勤務。広田地区在住。子どもの時は五番町校下在住。中学・高校時代は剣道部。現在もバイクツーリングが趣味。

子どもたちのために  
 あなた自身の未来のために  
 あなたの声を届けます

未来にかがやきを！

LINE@  
 でお友だち登録を  
 お願いします！

LINE 友だち追加



蛍の後援会発行